







天皇裕仁の戦争犯罪を弾劾し、旧日本軍の軍艦

(2月24日、西ヨーロッパ諸国はナ

ルラン、オーストリアへと進軍した。

米軍がライン川へ進出し、

西ヨーロッパでは、ソ連軍が

東ヨーロッパでも、米軍は完全に占領した。

島上陸、三月には硫黄島を完全に占領した。

しかし、天皇裕仁は、政府や陸軍

理由で解任されている。それだけ

ではなく、天皇裕仁は、政府や陸

軍の最高人事にしばしば口をほ

うま自分の意志を通じている。

木戸幸一内大臣就任、内閣

もつた天皇制下の天皇として政

府や軍部を統制していたのであ

る。それ故、政府や軍部に戦争責任

があるとするれば、これらを總攬し

統帥する立場にあり、権力を行使

した天皇裕仁にも戦争責任がある。

このことは理の当然ではないのか。

裕仁の詔勅は、彼の検討、承認な

くして絶対に承認することができ

ない。

（上）で陸海軍の統帥権を

回避した竹下民主党政府・支配

階級は、破綻しているこの「被可

者論」に依拠せざるを得ない。

即ち、「被可者」論が、戦前の

天皇制が立憲君主制であったとす

る子の唯一つの論拠なのである。

裕仁の戦争責任は何がなんでも

回避したい竹下民主党政府・支配

階級は、破綻しているこの「被可

者論」に依拠せざるを得ない。

即ち、「被可者」論が、戦前の

天皇制が立憲君主制であったとす

る子の唯一つの論拠なのである。

（上）で陸海軍の統帥権を

回避した竹下民主党政府・支配

階級は、破綻しているこの「被可

者論」に依拠せざるを得ない。

即ち、「被可者」論が、戦前の

天皇制が立憲君主制であったとす

る子の唯一つの論拠なのである。

（上）で陸海軍の統帥権を

